

令和元年度

事業所における自己評価結果

児童発達支援センターさくらんぼ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	○		プレイルームや5階広場など共有で使用する部屋は、各クラスの使用が重ならないように毎月の会議で調整している。	基準は満たしているが親子通園のため、両親で来られるときや就園先の先生方が見学に来られると狭く感じることがある。見学等の日程調整をしつつ、スペースを工夫して使用していきたい。
	②	職員の配置数は適切である。	○		基準は満たしており、外勤や年休が重ならないように予め調整も行っている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされている。	○		個人マーク、イラスト、ラインなど視覚支援を活用している。	一人一人に合わせてさらに細かい手だてを考えていきたい。活動の場の設定については、定期的に見直すようにしたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	○		毎日の清掃で、清潔と安全を心がけている。感染症防止のため室内の清掃、遊具・玩具の清拭、消毒を実施している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	○		毎日の療育だけでなく、行事や避難訓練等についても必ず計画、実施、反省を行い、次回に活かしている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		毎年実施し、全職員で保護者の意向の把握に努め、業務改善につなげている。	今後も保護者の意向や意見について職員全体で把握し改善につなげていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○		ホームページと報告書で公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		長崎市から指定管理委託の中でモニタリングを受けている。支援内容の質の向上については今後も継続して努める。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		月1回、様々な分野の講師を招いて研修を実施している。強度行動障害研修も順次受講。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	○		利用開始時には必ずアセスメントを行い、関係機関からの情報も得た上で保護者の意向を確認し支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○			KIDSをもっと活用していきたい。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されている。	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○		個別支援会議で支援内容を把握し計画に沿った支援を実施している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○		クラス担任4名で話し合って立案している。	

仮 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	○		月案や年間計画も確認し、活動に偏りが無いように、また系統的に取り組めるように工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	○		基本的な生活習慣の習得や集団活動への参加等について一人一人項目ごとに目標を立てて作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		毎朝の職員会議では、1日の流れや活動について全職員で確認を行っている。各クラスでもさらに細かい打ち合わせを行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○			終了後に、子どもの様子について気づいた点を共有している。活動の振り返りを細かく行い、今後の活動の展開や支援についてさらに深めていきたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		子どもの変化等にすぐに気づけるように様子を詳細に記録し、支援内容に反映させている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		定期的にモニタリングを行い、達成度を確認し、個別支援計画を見直している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担任だけでなく、必要に応じて児発管、園長も参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		療育していく上で、必要な情報は関係機関と連携を取るようにしている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		情報提供書、個別支援計画の写し、支援状況の一覧等を提供し共通理解を図っている。関係機関との連携を円滑にするために障害児相談支援事業所の開催するサービス担当者会議にて情報交換を行っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		けいれん発作などへの対応が必要な児について園医及び主治医との連絡体制を整えて対応している。救急搬送時の対応については主治医の指示書にそって対応できるように職員間で情報を共有している。	担任だけでなく全職員が対応できるように定期的な確認も実施していきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		並行通園、完全就園いずれの場合も就園先に定期的に連絡を取ったり、訪問したり、情報提供書の提供をして情報の共有と相互理解を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		情報提供書、個別支援計画の写し、支援状況の一覧等を提供し共通理解を図っている。互いに訪問し合い、引継ぎを丁寧に行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		長崎県立諫早医療福祉センターの技術支援の研修を受けたり、他の児童発達支援センターの見学研修を実施している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		長崎市内の3か所の保育所と交流保育を実施している。	
	29	自立支援協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会こども部会に参加し、他事業所や相談支援事業所との連携、研修企画等に携わっており、子育て支援課の開催する連絡協議会に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		変化や成長が見られるときだけでなく日頃の様子を、連絡票や電話、面談等で伝えている。	

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○	毎月の家族教室以外にもペアレント・トレーニングやペアレント・プログラムを実施している。	よりたくさんの方が参加できるように工夫していきたい。
	32	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	○		利用者アンケートで「わかりにくい」と答えた方がおられたので、より丁寧な説明を心がける。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	児童発達支援ガイドラインに基づいて作成された「児童発達支援計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容を説明し、保護者の意向に応じて見直しを行ったうえで保護者の同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	週1回の親子療育時に、保護者の相談に応じている。また内容や保護者からの希望によって個別面談を実施している。	職員は話しかけやすい雰囲気づくりを心がけ、遠慮しがちな保護者に対しては、声かけを行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	家族教室や懇談会等を開催し、情報交換や交流の機会を提供している。	「母の会」の運営について協力し、保護者の負担軽減に努める。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	相談や申し入れについてはすぐに児発管や園長に報告し対応している。	保護者アンケートでは、職員の相談・質問への対応について「少し不十分」と答えられた方がおられたので、相談・質問については、職員間で検討しすぐに返答し丁寧に対応していきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月、園だよりを発行し、年3回クラスだよりも発行している。また各クラスで月間の活動予定表を配布し活動内容を予め周知している。	
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○	個人情報の取り扱いについて保護者の同意書を得ている。また掲示物や靴箱等の氏名にも配慮している。個人情報の記載された文書等は廃棄手順にそって廃棄している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	身振りやサイン、絵カード等一人一人に応じた方法を使って意思疎通や情報伝達のための配慮をしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	運動会やクリスマス会などに招待している。地域の企業ボランティア活動にもご協力をいただいている。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	地震や火災だけでなく、不審者対応の訓練も行い、防犯マニュアルについて検討した。	保護者への周知をさらに徹底していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	単独療育で月1回。全館で年2回実施。実際の状況を想定して職員の動きを随時検討している。	親子療育の保護者へ十分な周知を行いたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	アセスメントで保護者に確認し、健康チェック票の記入とけいれん発作の対応が必要な児については主治医から情報提供を受けている。	

非常時の対応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○		アレルギー調査票の提出を保護者に依頼し、主治医からの診断と指示書を必ず確認してから対応している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの報告を迅速に行い、全職員に周知し改善策を検討している。ヒヤリハット事例集はいつでも閲覧でき、職員間で共有している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年1回の虐待防止研修と虐待防止委員会による虐待防止アンケートを実施している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		「行動制限等の実施にむけたマニュアル」にそって、職員間で十分に話し合って決定し、必要時には専門職の意見も取り入れている。保護者に説明し、同意を得た上で支援計画に記載している。	